



- 発行 -
青森西高校
生徒部
R3.11.29
第 5 号

「春の高校バレー」5年連続出場権獲得の金字塔！

☆全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選

10/30(土)・31(日) カクヒログループスタジアム

今大会に向けて一人ひとりが「勝つ」という意識で取り組んできたので、それが成果として表れて良かったです。来年1月の本戦まであまり時間はありませんが、応援してくださる方々に「鬼愛(きあい)の青西バレー」を見せられるように、そして目標としている全国ベスト8に一步でも近づけるように、気合いを入れて頑張ります！

○女子の部 優勝 「春高バレー出場権獲得」



目標は「鬼愛」で全国ベスト8！

バスケ男女 涙のベスト8 雪辱誓う

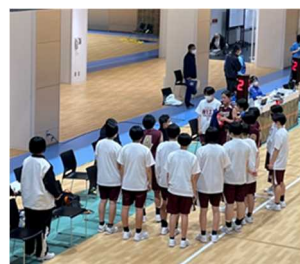
☆第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会県予選

10月23日(土)～24日(日) むつマエダアリーナ

ほとんどの3年生が高校総体で引退した中で、残ってくれた3年生がいるということは大きな意味があると感じる。プレー面でも男女ともに県高校総体優勝の柴田学園に対して、引けをとらないプレーであった。新人メンバーが主体であるため点差は付いたが、大きな経験になったことは間違いないので今後に生かされると思う。

3年生が見せた背中と最後に流した涙は、どの言葉よりも後輩達に感動と勇気を与え、チームの大きな財産となりました。3年間お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

○男子の部 ベスト8



○女子の部 ベスト8

女子ハンド銀獲得も「ここから！」

☆第71回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会

10月30(土)、31(日) マエダアリーナ

私たちは、二次予選進出を目標に日々練習に励んできました。その結果、自分たちの持ち味を発揮して決勝まで進むことができました。今後は、二次予選に向けて、今大会の反省を踏まえて新たな課題に取り組み、東北大会出場を目指してチーム全体で頑張っていきたいと思います。

○女子の部 準優勝



NHK全国学校音楽コンクール 青西合唱部快挙！ 県では金 東北では18年振り銅受賞！

青森県大会：8月19日(木) リンクステーションホール青森 東北大会：9月19日(日) 音源審査

○青森県コンクール 金賞 ○東北ブロックコンクール 銅賞

全日本合唱コンクール 東北は2大会連続金に輝く！

青森県大会：8月22日(日) リンクモア平安閣市民ホール

東北支部大会：9月24日(金) やまぎん県民ホール(山形市)

○青森県大会 金賞 ○東北支部大会 金賞

私たち合唱部は、令和3年度「全日本合唱コンクール東北支部大会」において「金賞」を受賞しました。全国代表の夢は叶いみせんでしたが、前大会(令和元年度)に続き、東北支部大会での金賞受賞に部員一同、喜びをかみしめています。青森県独自のコロナ対策を受け青森県代表だけが「県大会の音源」による東北大会参加でしたので、特に今年は感慨深いものがあります。東北大会までの1ヶ月間しっかり練習を積み重ね、山形市の「やまぎん県民ホール」のステージで演奏できなかったことはとても残念でした。そのような状況の中、高い評価をいただいたことを励みとし、来年度青森市で開催される全国大会のステージで演奏できるよう、さらに充実した活動に結びつけたいと思います。

また「NHK 全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール」において平成15年度以来18年ぶりに銅賞を受賞しました。今大会は東北6県すべての代表校が各県大会の音源による審査でした。各自のレベルアップをはかり、来年度も県代表を目指し、名取文化会館のステージに立ちたいと思います。

今後も西高合唱部らしく「心に響く合唱」を目指して頑張ります。応援ありがとうございました。



剣道女子が3年連続全国選抜大会出場権獲得！

☆令和3年度青森県高等学校新人剣道選手権大会

11月6日(土)・7日(日) ひらかわドリームアリーナ

2年連続アバック準Vであった。昨年はうれしさが上回ったが、今年は悔しさが断然上だ。9月の部活動禁止から、10月に入っても対外試合の禁止と公立高校にとっては厳しい状況であった。それでもやれることはやってきた。むしろ自主性を大いに高めることができたと思う。しかし、肝心の場数を踏んでいない分、穴埋めができなかったというのが正直なところである。今大会で課題は見えた。それは「克己心」だ。この克己心をこれからどのようにして養うかが勝利への鍵となる。今度こそ生徒・保護者・顧問の三位一体で春を迎えたい。

○男子団体 準優勝 「東北選抜大会出場権獲得」

○女子団体 準優勝 「全国選抜大会出場権獲得、東北選抜大会出場権獲得」

○男子個人 ベスト8

○女子個人 ベスト8



その涙 心剣(真剣)磨く 砥石水

洋弓部 伝統校の意地 女子が団体3連覇！

☆令和3年度青森県高等学校アーチェリー新人大会

10月23日(土)・10月24日(日) 六ヶ所村内子内農山村広場

女子は新人大会3年連続優勝の重圧の中、最後まで集中して競技に臨んでいた。男子も途中までは三農恵拓に食らい付いていたが、最後は40点程離されてしまった。実力差は点差ほど大きくなく、男子は女子と比較して、プレッシャーに弱かった面が敗因の1つだと感じた。日々練習を重ねて、自信をもって試合に臨めるようになればチャンスが出てくるのではと思う。1年生に関しては来年の春以降、70mと距離が長くなるため、今回の結果に左右されずに努力を続けてもらいたい。

○男子団体 準優勝「東北選抜大会出場権獲得」

○女子団体 優勝「東北選抜大会出場権獲得」

○男子個人

30m 優勝、第5位

70m 第6位

30m(1年生の部) 第4位、第5位、第6位



○女子個人

30m 第3位、第4位、第5位、第6位

70m 第3位、第4位 第5位

30m(1年生の部) 準優勝、第4位、第5位

吹奏楽部「県でも金」

☆全日本吹奏楽コンクール第63回青森県大会

7月25日(日) リンクステーションホール青森

今年度、高等学校小編成の部で出場し、7月9日の地区大会、7月25日の県大会でも金賞をいただくことができました。これまでご指導くださった福田コーチをはじめ、西高吹奏楽部に関わってくださったすべての方々のおかげです。本当にありがとうございました。今年惜しくも逃した東北大会出場を果たせるように、よりいっそう日々の練習に励み、たくさんの人の心に届く演奏ができるよう頑張ります。

気持ちを音に込めて



青西イレブン快進撃！シード校破り8強！

☆青森県高等学校サッカー新人県大会

10月31日(日)・11月12日(金)・13日(土)

八戸学院大学、PAMCO フィールド、五戸ひばり野サッカー場

中学校からサッカーを始めた選手が多く、クラブのジュニアユース出身は他のチームに比べて少なく、ずば抜けた選手はいない。いわゆる雑草軍団である。3回戦の相手となった青森北高校は今大会ベスト4シードの学校である。その相手に雑草たちが気迫のサッカーで立ち向かい、緻密に練られた戦術で相手の攻撃を無効化し、武器であるロングスローとショートカウンターでしっかり得点して圧倒したことは大きな自信となった。冬場にもう一段階成長し、来年度に繋げたい。

「努力の花咲く」9年振りの快挙！



洋弓部 大健闘 東北でベスト8！

☆令和3年度第36回東北高等学校アーチェリー選抜大会

11月13日(土)・11月14日(日) 山形県鶴岡市小真木原総合体育館

男女共、精神的な弱さが露呈した結果かと思う。特に女子は調子が悪いながらも予選2位通過であり、準々決勝の相手も普段通りにできれば負ける相手ではなかった。冬の間に精神面を鍛え、来年度のインターハイに向けて頑張してほしい。

○男子団体 ベスト8

○女子団体 ベスト8

○女子個人 18m 第6位



バスケ男女 ブロック準V 揃って決勝大会進出！

☆令和3年度高校新人バスケットボール大会ブロック大会

11月13日(土)・14日(日) 弘前市(県武道館・弘前高校)

コロナ渦の中、練習試合や練習ができない環境であったが、限られた時間でできる限りのことは行ってきた。苦しい場面も多々あったが、選手の主体性で乗り切った場面もあり確実に成長している。男女ともシードを死守できブロックの決勝では、点差以上の収穫があり、今後に手応えを感じる大会であった。

1月8日から行われる決勝大会(ベスト8以上)では、男女ともに格上の相手であるが、全力で立ち向かいたい。

○男子の部 ブロック 準優勝

○女子の部 ブロック 準優勝

限界突破！その壁を越えろ！



ボート女子 先輩の背中追い 舵手付クォド2位！

☆令和3年度青森県高等学校新人ボート選手権大会

10月8日(金)～9日(土) 新田名部川ボート場

同種目で初のインターハイ出場を成し遂げた3年生の背中を見ながら、「次は私たちが！」という強い気持ちを持った選手たちである。外部コーチの丁寧な指導の下、小さい体ながら積極果敢なレースをする。一位の青森中央高校は体格が良くダイナミックな漕ぎをするのに対し、こちらは粘り強くピッチで迫る。

この冬場に、どれだけ質の高いローイングを積み上げるかが来年の勝敗に繋がる。1ミリの無駄も無い完璧な漕ぎをして二連覇を目指したい。

○女子の部 舵手付クォドルプル 準優勝



柔よく剛を制す！

青西おもてなし隊へ感謝状

青森学術文化振興財団令和3年度助成事業「新青森駅・青森駅を核とした市民協働の場づくりおよび情報発信の強化に関する研究・実践」の一環として、青森大学の櫛引教授、JR新青森駅の工藤駅長、三内を美しく元気にする会の皆さんをお迎えし、「雪国の新幹線駅のおもてなし」をテーマに、先進事例と心構えについて青西おもてなし隊が学びました。当日は工藤駅長から青西おもてなし隊へ感謝状が贈られ、観光地域づくり法人「信州いいやま観光局」大西氏によるオンライン講演が行われました。

